

毛髪で縫った曼荼羅

～漂泊僧 空念の物語

●講師 金城学院大学非常勤講師 日沖 敦子



髪繡当麻曼荼羅(大分県宇佐市極楽寺蔵)

江戸時代前期に穀断（即身仏となることを目的として穀物を断つ苦行）を繰り返す、諸国を遍歴し、在地の人々の毛髪を求めては当麻曼荼羅などの仏画を縫いあげるといった活動をしていた空念という一人の僧侶がいました。空念の存在や活動の実態については、これまで注目されてきませんでした。近年の研究によって、徐々にその足跡が明らかになってきました。現時点では、青森から熊本に至るまで、全国に69幅以上存在したことがわかっています。全て毛髪のみで曼荼羅を縫いあげた例は、空念以前の作例には未だ確認されていません。本講座では、空念の最新の研究動向をお伝えし、何故、空念は民衆の毛髪を集め、仏画を制作し続けたのか、漂泊僧空念の足跡を追いながら、民衆信仰の在り方について考えていきたいと思います。また、本講座修了後には、実際に、空念の関連寺院（京都方面）で髪繡の閲覧などを盛り込んだ現地セミナーも予定。

【日程・テーマ】

- 7/3 江戸時代の漂泊僧たち
空念との出会い
- 7/17 毛髪で縫った当麻曼荼羅
①大分県極楽寺・宮城県昌繁寺の髪繡当麻曼荼羅
- 7/24 毛髪で縫った当麻曼荼羅
②青森県摂取院の髪繡当麻曼荼羅
- 8/7 空念の正体
毛髪で縫った涅槃図と来迎図
(京都市成願寺の涅槃図・莊厳寺の来迎図)
- 9/4 語り継がれる空念
空念の影響を受けた僧侶たち
- 9/18 祈りのかたち
中将姫伝承と繡仏

■日時 全6回 土曜 13:00～14:30

■受講料 6回分12,600円
新入会の方は入会金4,200円が必要です



朝日カルチャーセンター
朝日JTB・交流文化塾

名古屋

名古屋市中区栄3の4の5
スカイル10階
Tel 052-249-5553